

平成 28 年第 4 回雲仙市議会定例会

市 長 報 告
(開 会)

平成 28 年 11 月 24 日

雲仙市長 金澤 秀三郎

【平成 28 年度農事功績者表彰受章について】

我が国で最も歴史ある全国的な農業団体であります公益社団法人大日本農会主催による「平成 28 年度農事功績者表彰式」が行われ、吾妻町の岩崎政利様が、緑白綬有功章を受章されました。

岩崎様は、雲仙市有機農業推進ネットワーク及び雲仙市伝統野菜を育む会の代表のほか、日本有機農業研究会において種苗担当幹事を務められ、更には、講演活動や研修生の受入にも積極的に取り組まれるなど幅広くご活躍されており、こうした功績が称えられ、今回の受章に繋がったものと伺っております。

今後とも、本市の地域リーダーとして益々ご活躍いただき、地域農業の振興に貢献されますよう祈念申し上げます。

【平成 28 年度ながさき農林業大賞の受賞について】

平成 28 年度ながさき農林業大賞につきましては、特産部門において、瑞穂町の有限会社長田製茶様が「長崎県知事賞」を、野菜部門において南串山町の浅野政輝様・由美子様ご夫婦が、地域営農部門において千々石町の岳棚田プロジェクト

21 様がそれぞれ「運営委員会賞」を受賞されました。

今回の受賞は、地域の特性を活かした先進的な農林業を展開され、成果を上げられていることに対し高い評価を受けたものであり、本市の農林水産業の振興に繋がるものと考えております。

【小浜中学校吹奏楽部 金賞受賞について】

11月20日、大阪府で開催されました「第29回全日本マーチングコンテスト」に、九州代表として出場した小浜中学校吹奏楽部の皆様が、見事に「金賞」を受賞いたしております。

小浜中学校吹奏楽部の皆様は、今大会で連続13回の全国大会出場という偉業に併せて、「全国大会11年連続の金賞受賞」という輝かしい成績を収められました。

このことは、部員皆様の日頃の練習や努力の成果と、指導者をはじめ保護者や関係者の熱意の賜物であると思っております。

市民の皆様とともに心からお祝い申し上げます。

【第71回国民体育大会及び第16回全国障害者スポーツ大会

【**について**】

10月1日から11日にかけて開催されました「第71回国民体育大会」において、瑞穂町在住の諫早東高等学校3年 酒井孝大さんが、長崎県代表として出場されたアーチェリー競技団体において、準優勝に輝かれ、更に個人第4位という素晴らしい成績を収められました。

また、10月22日から24日にかけて開催されました「第16回全国障害者スポーツ大会」において、小浜町の山道一晟さんが陸上競技に出場され、400mで3位、長崎県代表チームとして4×100mリレーで優勝され、輝かしい成績を収められました。

酒井様、山道様の今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

【**第29回全国健康福祉祭ながさき大会について**】

10月15日から18日にかけて長崎県内各地で開催されました「ねんりんピック長崎2016」に、雲仙市から4種目に15名の方が長崎県代表として出場され、「マラソン交流大会10km70歳未満 女子」の部において、愛野町の佐藤久美子様が第3位に入賞されました。

心からお祝い申し上げますとともに、出場されました皆様の今後の更なるご活躍を期待いたします。

なお、この全国健康福祉祭は本県で初めて開催され、本市では、島原市との共催によりサッカー交流大会を開催し、大会期間中の参加者は、選手、関係者及び観覧者を合わせて、約1,300人と聞き及んでおり、大変多くの方々にご参加・ご来場いただきました。

多くの市民の皆様にご協力をいただき、手づくり応援のぼり旗製作を始め、小浜ちゃんぽんや雲仙あかね豚を使用した豚汁のふるまい料理、健康づくり教室等の「おもてなし」は、全国から来訪された皆様へ大変好評でございました。

約2年間の準備期間を経て行われた、ねんりんピック長崎2016サッカー交流大会が、成功裏に終了することができましたことに、ご支援ご協力いただきました市議会議員をはじめ関係機関、関係団体、そして多くの市民の皆様にご心から厚くお礼を申し上げます。

【第67回長崎県民体育大会について】

第67回長崎県民体育大会が、11月12日、13日にかけて、

県央地区を主会場として開催されました。

雲仙市選手団は、19競技に総勢503名の市民の方が出場し、団体競技では、グラウンド・ゴルフ女子において、個人競技では、陸上競技のやり投げ男子、砲丸投げ男子のそれぞれの年代別競技において田口千早さんが、レスリン 84kg 級個人で川内崇寛さんが、見事優勝されました。

また、団体競技において4団体、個人競技4選手が第2位、さらに、団体競技7団体、個人競技3選手が第3位という立派な結果を残されました。

雲仙市の代表として出場された選手の皆様のご活躍を称えますとともに、今後、益々のスポーツの振興と競技力の向上をお祈り申し上げます。

【第 11 回全日本女子オープンレスリング選手権大会及び第 19 回全日本小学生女子相撲大会について】

10月2日、静岡県で開催されました「第11回全日本女子オープンレスリング選手権大会」のキッズ5・6年生の部プラス45キロ級において、土黒小学校6年の内野杏美さんが、見事優勝されました。

更に、10月16日に大阪府で開催されました「第19回全日本小学生女子相撲大会」の50キロ以上60キロ未満級においても優勝され、3年連続で日本一に輝くという偉業を成し遂げられました。

数々の栄冠に輝かれたことに対し、心からお祝いを申し上げますとともに、今後益々の活躍に期待いたします。

【地熱コンベンション IN 雲仙の開催について】

11月18日、小浜公会堂におきまして、交流人口の拡大や地域の活性化を目的として「地熱コンベンション IN 雲仙」を開催いたしました。

本コンベンションは、「雲仙エコプロジェクト」事業の一環として取り組んだもので、再生可能エネルギーの中でも、特に地球に優しいエネルギー分野である地熱エネルギーについて、先進的に取り組まれている研究者による基調講演、自治体及び団体などによる事例発表及びパネルディスカッションを行い、多くの関係者のご参加をいただき、最新情報や各地の取り組みを雲仙市から発信したもので、盛況のうちに終了することができました。

今後も、再生可能エネルギーに取り組む先駆的自治体としての雲仙市や島原半島をアピールしていくとともに、豊富な地域資源を活用した産業開発によるまちづくりに向け取り組んでまいります。

【長崎デスティネーションキャンペーンについて】

10月1日から12月31日までの3ヶ月間、長崎県内の魅力を広く全国に発信し、一人でも多くの方にお越しいただくことを目的とした大型観光キャンペーン「長崎デスティネーションキャンペーン」が実施されております。

本キャンペーンにおいては、長崎県内の自治体、観光関係団体等とJR6社が一体となって全国のJR主要駅でのポスターの掲示や全国の旅行会社やマスメディア等の訪問及び各種イベントでのPR活動等を精力的に行っております。

なお、キャンペーン期間中である10月28日から11月6日までの10日間において、雲仙市、雲仙温泉観光協会及び仁田峠着地型観光実行委員会が協賛し、JTB九州による「雲仙仁田峠プレミアムナイト」が開催されました。

このキャンペーンにより、雲仙市を訪れる多くの観光客に、

秋・冬の雲仙市をご堪能いただけるものと期待いたしております。

今後も引き続き、関係機関と連携し、観光素材の発掘やPR等に積極的に取り組んでまいります。

【観光姉妹都市 10 周年記念行事について】

10月21日、「雲仙市・霧島市観光姉妹都市盟約締結10周年記念式典」を執り行いました。

記念式典には、雲仙、霧島の両市から市議会議員の皆様をはじめ、観光関係者、商工関係者等約70名の方にご出席いただき、今後の観光姉妹都市としての友好関係を再確認してきたところでございます。

両地域が日本で最初の国立公園に指定された地というご縁を活かし、今後も、伝統、文化などの交流を続け、お互いの観光振興を図り、更なる交流を深めてまいりたいと考えております。

【雲仙天草国立公園指定 60 周年記念式典について】

10月30日、天草地区が雲仙国立公園に追加され、雲仙天

草国立公園が誕生してから 60 年の節目を迎えることから熊本県苓北町において、熊本県・天草地域観光推進協議会主催による「雲仙天草国立公園指定 60 周年記念式典」が執り行われました。

これまで、地域資源を活用した滞在型観光を促進するため、雲仙天草観光圏の市町が連携し、観光プランの創出や観光 PR 活動に取り組み、また、雲仙天草国立公園構成市町による外国人観光客の増加を目的とした国への要望活動等を行ってまいりました。

今後も、県や関係市町と更に連携し国立公園の特性にあった支援策が実施されるよう、国への働きかけを強め、雲仙天草国立公園の魅力を高めてまいりたいと考えております。

【トップセールスについて】

10 月 31 日、中国最大手の総合金融グループであり、長崎への高い送客実績のある上海中信国際旅行社を訪問し、本市の PR を行うとともに上海からの送客をお願いしてまいりました。

さらに、現地日本企業である JR 九州上海事務所を訪問し、

中国人観光客の動向等について意見交換をしてまいりました。

今後、中国等をはじめとする東アジアから、更なる本市への観光客の増加を期待し、引き続き、国内外からの観光客の誘致活動を積極的に行ってまいります。

また、11月8日、東京都内において鮮魚の販売店舗を5ヶ所経営され、飲食店等5,000店舗への仲卸システムを構築されておられる『株式会社フーディソン』の本社を訪問し、本市の海産物や水産加工品等のPRを行ってまいりました。

本市の海産物等につきまして強い興味を持っていただいたところでございます。

今後も引き続き生産者の皆様と連携しながら、販路拡大に繋がるよう積極的に取り組んでまいります。

【災害時における協定について】

10月3日、NPO法人コメリ災害対策センター様と「災害時における物資供給に関する協定」を締結しました。

これは、大規模な災害発生時に作業用品や日用品等の物資を迅速かつ円滑に供給する体制の整備を目指して、市からの

要請に応じて物資の調達などに協力いただくものです。

本協定の締結により、災害発生時には、被災者に対して支援物資などを安定的に供給する体制の強化に繋がるものと期待しております。

今後も更に災害に強い、安全・安心のまちづくりに取り組んでまいります。

【平成 28 年度緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練について】

11月5日、6日にかけて、平成28年度緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練が国見町多比良港埋立地をメイン会場として実施されました。

訓練は、雲仙地溝北縁断層帯を震源とするマグニチュード7.3の地震の発生により、雲仙市で震度6強、島原市、南島原市及び諫早市で震度6弱を観測し、甚大な被害が発生したとの想定のもと、九州各県の消防防災関係機関から消防車両等約300台、航空機9機、総勢約1,300名が参集され、大規模かつ最先端の訓練が披露されました。

今回の訓練に参加された方々の機敏な行動と熱意ある取

り組みを拝見し、市民の生命と財産を守る立場にある者として、大変心強く感じたところでございます。

この訓練をもとに、様々な災害に対応できるよう防災体制の整備に努めてまいります。

【愛野・小浜バイパス建設促進期成会にかかる要望について】

11月15日、雲仙市・島原市・南島原市で構成します愛野・小浜バイパス建設促進期成会として、島原半島3市の市長、議長とともに、長崎県知事、長崎県議会議長、自由民主党長崎県支部連合会、長崎河川国道事務所に対し要望を行いました。

市といたしましても、要望いたしました愛野・小浜バイパスの早期事業化と、国道57号の縦断勾配が急な区間、小さな平面曲線が続いている区間、右折車による渋滞区間の改良、歩道の整備及び急峻ながけ地の防災対策など、現道改良の早期整備の実現を強く求めており、今後も関係機関と連携し引き続き要望を行ってまいります。

【平成 27 年国勢調査の確定値の公表について】

10 月 26 日、総務省統計局から平成 27 年国勢調査の確定値が公表されました。

本市の平成 27 年 10 月 1 日現在の人口は 4 万 4,115 人であり、前回調査の平成 22 年と比較いたしますと、3,130 人減少しております。

今回の結果は、昨年 12 月に策定した雲仙市人口ビジョンにおいて目標とする 2015 年の数値に比べても少ないものとなっており、このままでは 2060 年に 3 万人程度の人口を確保することが、厳しいものと認識しております。

市では、これまで人口減少問題への取り組みとして子育て世帯への経済的支援、産業育成の支援などを強化して参りましたが、少しでも早く人口減少対策の効果を表せるよう取り組んでまいります。

【雲仙市総合計画等審議会からの答申について】

11 月 4 日、雲仙市総合計画等審議会から、「第 2 次雲仙市総合計画の策定について」の諮問に対する答申書を提出いただきました。

本年 3 月 24 日に諮問して以降、審議会委員の皆様にはこれまで 4 回にわたる審議会の開催と、現地視察を実施され、総合計画の策定に向け、ご審議を重ねていただいたところであり、答申書としてとりまとめていただきましたことに深く感謝申し上げます。

全国的に地方創生の取り組みが加速する中、地域間競争が激化しており、本市におきましても人口減少問題、経済低迷等の様々な地域課題を早期に克服できるよう強力に各施策に取り組む必要があります。

いただきました答申を真摯に受け止め、また、本定例会におきまして議員各位のご意見を賜りながら、第 2 次雲仙市総合計画の策定と取り組みを進め、雲仙市の更なる発展に繋げてまいります。